



トリオ・イメーシオの演奏

素敵な音色を奏でる三重奏

～ホストタウン事業・オーストリア室内楽コンサート開催～

9月8日、ガレリアかめおか響ホールで、東京2020オリンピックの空手競技のホストタウンであるオーストリア共和国の文化を身近に感じていただく機会として、同国大使館の協力により、ウィーンからトリオ・イメーシオの皆さんを招き、オーストリア室内楽コンサートを開催しました。同グループは、ピアノのリアム・ヴァルツェラシビリさん、バイオリンのヴィラ・ツックさん、チェロのネマニア・スタンコヴィッチさんで構成するピアノ三重奏。オーストリア外務省のプログラム「2018-2019 New Sound



オーストリアの文化を紹介する展示も行いました

身近に感じていた多くの人の心が癒され、オーストリア共和国の音楽文化を身近に感じていた多くの機会となりました。



松本隆博さん(左)に桂川市長から委嘱状をお渡ししました

松本隆博さん 京都・かめおか観光PR大使に就任

～歌の力で亀岡を元気に！～

このほど、亀岡にゆかりがある著名人が亀岡の魅力を広く発信する「京都・かめおか観光PR大使」にシンガーソングライター松本隆博さんに就任いただきました。本市在住で、超有名お笑い芸人を実弟に持つ松本さんは全国の福祉施設や学校、音楽イベントなどで精力的に講演を行われています。8月9日には、市役所で松本さんと桂川市長が面会し、委嘱状が手渡されました。委嘱状を受け取った松本さんは「亀岡の自然、風土がとても気に入っています。ライブ活動を通じ、亀岡の魅力を伝えていきたいです」と話されました。

そして大使就任後、8月11日には、保津川市民花火大会・かめおか平和音楽祭にスベシヤルゲストとして登場。家族や友人との絆を描いた楽曲を披露され、熱い歌声で会場ににぎわいを呼び込みました。今後、講演会や音楽活動を通じ、魂のこもった音色とともに亀岡市の魅力を広めていただきます。



保津川市民花火大会を歌声で盛り上げる松本さん



大会2連覇を達成した荒賀選手の活躍(8月27日、ジャカルタ) 写真提供/空手道マガジンJKFan

輝く金メダル！ 荒賀龍太郎選手、アジア競技大会2連覇の快挙

亀岡市出身・在住の荒賀龍太郎選手が、8月27日にインドネシアのジャカルタで開催された第18回アジア競技大会の空手競技の組手84kg級に出場し、見事優勝されました。前回大会に続く2連覇という快挙を達成され、9月6日、優勝報告のため市役所を来訪されました。獲得した金メダルや、「JAPAN」と背中にかかれた日本代表のユニフォームを見せていただきながら「プレッシャーを感じる中でしたが、金メダルが取れて良かったです」と力強く語っていただきました。荒賀龍太郎選手後援



大会2連覇を桂川市長に報告する荒賀選手

会発足後、最初の大会での素晴らしい結果となり、桂川市長は「後援会としても大変うれしく思います。東京オリンピックに向けて頑張ってください」と激励しました。東京2020オリンピックでは、空手道競技は正式種目として決定しており、荒賀選手はメダリスト候補として特に注目されています。全日本空手道連盟ナショナルチームメンバーには12年連続で選ばれ、国内だけでなく国際大会でも多くの優勝をおさめてこられたトップアスリートです。11月には2連覇のかかった世界空手選手権大会がスペイン・マドリッドで開催されますので、皆さんもぜひ応援しましょう！

第三百九十五回 亀岡ちよと昔の道具箱(25) 文化財めぐり

羽釜

季節は秋へと移り変わり、お米の収穫の時期を迎えようとしています。秋といえば食欲の秋。新米を炊いて食べるのが楽しみの一つです。今では炊飯器のおかげでいつでも気軽にあたたかのご飯が食べられますが、少し前まではかまどに乗せる「羽釜」を使ってお米を炊いていました。



▲羽釜

丸い釜の周りには、かまどに固定するためのつばがついています。つばが羽のような形をしているため羽釜と呼ばれます。羽釜のふたには、分厚く重い木が使用されています。これはご飯を炊いている最中に吹きこぼれないようにするためです。熱が伝わりやすいように丸くできている釜底は、煤で真っ黒になります。

(文化資料館)